



2020. 3. 31

「しずおか観光活性化ファンド」投資事案(第8号)が決定

静岡キャピタル株式会社

「しずおか観光活性化投資事業有限責任組合」(しずおか観光活性化ファンド)の第8号投資事案として、サーフ スタジアム ジャパン Surf Stadium Japan株式会社への投資を決定しましたので、その概要をお知らせします。

1. 投資額 上限3億円(社債引受)

2. 投資日(予定) 2020年8月

3. 投資先の概要

- (1) 企業名/Surf Stadium Japan 株式会社(代表取締役 安達俊彦)
- (2) 所在地/牧之原市静波 2315 番地 6
- (3) 設立日/2019年3月
- (4) 事業内容/スポーツ施設(人工サーフィン場)の運営ほか

4. 投資理由など

○Surf Stadium Japan 株式会社では、牧之原市の静波海岸で「人工サーフィンプール」の建設を進めており、本年秋の開業を予定しています。

この施設では、最新のテクノロジーにより、自然では実現がむずかしい高い波を安定的に起こすなど、初級者からトップアスリートまで対応できるよう、多様な波質を自在に提供することが可能です。

○また、本施設を活用したサーフィン・スクールの開催などを通じて、レジャーや健全なスポーツとしてのサーフィンの普及、青少年の育成に寄与することをめざしています。さらに、将来的には世界大会の開催も視野に入れ、世界レベルの競技者や指導者の育成にも取り組んでいく方針です。

○静波海岸は、付近に30以上のサーフスポットが点在し、温暖な気候に加えて交通アクセスもよく、年間を通じてサーフィンを楽しむことができるため、県内外から多くのサーファーが訪れています。

○牧之原市では、これまでにサーフィンの全日本選手権の開催や、米国や中国のナショナル・チームの事前合宿も行われています。また、昨年、株式会社 ANA 総合研究所と本施設を活用した沿岸部の活性化に向けた「包括連携協定」を締結し、静波海岸をはじめとした牧之原市沿岸部の活性化に取り組んでいます。

○こうしたことから、本取り組みは社会的意義が大きく、地域の活性化にも資するものとして、本ファンドの趣旨と意義に適すると判断し、投資事案に決定しました。

＜ご参考＞「しずおか観光活性化ファンド」について

名称	しずおか観光活性化投資事業有限責任組合
設立日	2015年3月31日
ファンド総額	13億円
組合員構成	静岡銀行、観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合 静岡キャピタル(株)、REVICキャピタル(株)、スルガ銀行、沼津信用金庫 富士信用金庫、富士宮信用金庫、三島信用金庫、浜松いわた信用金庫
ファンド存続期間	2022年3月31日まで(設立日から7年間)
投資対象および地域	静岡県を中心とする地域で観光産業の振興に資する中小・中堅企業等の事業者
業務運営者	静岡キャピタル(株)、REVICキャピタル(株)